

令和6年度 自己評価

幼保連携型 別所まるやまこども園

	保育理念・保育観	評価項目
1	保育教諭一人一人が、保育理念・保育方針を理解している。	B
2	保育方針を理解して、保育計画等が立てられている。	A
3	常に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている。	A
4	一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	A
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	A
	保育計画・指導計画	
1	保育方針のねらい及び内容が達成できるような保育過程や保育計画を立てている。	A
2	保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画・月案・週案をたてている。	A
3	3歳未満児は現在の姿を理解し、見通しを持って一人一人に応じた保育計画を立てている。	A
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てる。	A
	食育	
1	食育の重要性を理解して、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。	A
2	給食室・保育士等が連携し、意見を交わしながら、よりよい給食になるように努めている。	A
3	できるだけ、地元の食材や旬の食材を取り入れ様々な食材を味わえるようにしている。	B
4	給食やおやつは手作りをしている。	A
	職員構成・役割・研修	
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携をとって円滑な園経営ができています。	A
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができています。	A
3	職員が各委員会に所属し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。	B
4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行している。	A
5	施設設備や遊具等の安全点検を行っている。	A
	保護者支援	
1	保護者と良好な関係を作ろうとしている。	A
2	園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	A
3	保護者の状況を理解し、個人情報の漏れに気を付ける。	A
4	子育てパートナーとしての親子の交流の場となるように努めている。	B
	子育て支援	
1	地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている。	A
2	地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。	A
3	子育ての心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。	A
4	園生活の子どもの様子を地域にも発信している。	B
	小学校や地域社会との連携	
1	定期的に小学校と交流を行っている。	A
2	定期的に小学校や幼稚園との会議や職員交流を行っている。	A
3	地域高齢者との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てる。	B

A すべての点で目標、課題が達成できている。

B 目標課題が達成されている。

C 取り組まれているが、結果が不十分である。

D 取り組みが不十分である。